

島根大学医学部医学科コンピテンス・コンピテンシー【20221102 一部改訂】

I. プロフェッショナルリズム

能力の種類：「態度」

すべての医学生は卒業時に、医療専門職として必要な高い倫理観と豊かな人間性（患者に対する誠実さ、責任を含む）を修得し、患者のみならず社会からも信頼されるよう行動することができる能力を有していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. （社会的使命）医療専門職としての社会的使命を理解し、社会から信頼されるよう行動することができる。
2. （他者理解）他者に対して、誠実、公正に、かつ、思いやり、尊敬の気持ちをもって接することができる。
3. （説明責任）患者に対して、責任のある行動をとり、決定や行為の結果について説明できる。
4. （患者優先・利他）患者の価値観と権利を理解し、患者の立場に立って行動することができる。
5. （守秘義務）個人情報守秘義務を遵守した適切な行動をすることができる。
6. （誠実性）医療に関連する企業との利益相反を理解し、医療者として適切な行動をすることができる。
7. （医・研究倫理）生命の尊厳及び医療・研究倫理を理解し、行動することができる。

II. コミュニケーション能力

能力の種類：「技能」＋「態度」

すべての医学生は卒業時に、患者やその家族及び同僚、医療チームの構成員と良好な人間関係を構築し、かつ、患者の健康や疾患に対する理解や治療に対する動機付けを促進するために必要なコミュニケーション能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. （他者理解：傾聴と共感）患者とその家族の悩みや心配を傾聴し、共感することができる。
2. （医療コミュニケーション）患者にわかりやすい言葉で説明し、健康や疾患に対する理解や治療に対する動機付けを促進することができる。
3. （チームワークとリーダーシップ）同僚や医療チームのメンバーの立場を理解しながら協調的態度で接し協働しながらリーダーシップを涵養することができる。

III. 問題解決能力

能力の種類：「技能」＋「態度」＋「知識」

すべての医学生は卒業時に、臨床的課題に対して自ら積極的に解決を図ることができる能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (研究) 基本的研究手技を実施でき、データを解析できる。
2. (情報収集と評価) 最新の科学的情報を収集し、評価できる。
3. (科学的コミュニケーション) 科学的思考に基づいた批判・討論・プレゼンテーションができる。
4. (EBM) 科学的根拠に基づいた医療を理解し実践できる。
5. (臨床研究) 臨床試験・治験に関わる知識を備え、その重要性を理解することができる。

IV. 医学知識

能力の種類：「知識」

すべての医学生は卒業時に、基礎医学、社会医学、行動科学および臨床医学で修得した知識を統合し、医学・医療に関する事象を幅広い視野で考えることができる能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (人体の正常構造と機能) 人体の正常構造と機能やさまざまな生命現象に関する知識を修得し、病態の理解に応用できる。
2. (臨床知識) 頻度の高い疾患の症候・病態、診断と治療及び予防についての知識を修得し、臨床現場で応用できる。
3. (行動科学) 行動科学に関する知識を修得し、患者や人に良い行動変容を促すよう行動することができる。
4. (社会医学) 疫学・予防医学や保健・医療・福祉・介護制度など社会医学に関する知識を修得し、個人及び社会における健康・医療について考察することができる。
5. (法医学と関連法規) 法医学及び関連法規に関する知識を修得し、人の死に関わる問題に適切に対応することができる。
6. (情報リテラシー) 情報の質、意義を理解し、必要な情報を収集し適切に行動することができる。

V. 臨床能力

能力の種類：「技能」＋「態度」＋「知識」

すべての医学生は卒業時に、患者を適切に診察し、症候・病態から診断と治療立案へアプローチできる能力を修得していることが求められる。また、保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、連携することが求められる。また、患者中心の良質な医療の提供に配慮できることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (基本的診察) 医療面接、身体診察を適切に行うことができる。
2. (カルテ記載) 病態の把握、診断や治療計画に必要な情報を正確に収集し、診療録を適切に記載できる。
3. (基本診療手技) 基本的な医療手技・処置ができる。
4. (検査と結果解釈) 目的に応じた検査方法を選択し、得られた結果を適切に解釈することができる。
5. (プレゼンテーション) 回診、カンファレンスで適切に症例のプレゼンテーションができる。
6. (鑑別診断、臨床推論) 患者の症候・病態から、診断へ結びつけるアプローチができる。
7. (問題解決) 患者の問題点を抽出し、解決に向かって系統的にアプローチし、治療計画を立案できる。

VI. 医療の質と安全の管理

能力の種類：「態度」＋「知識」

すべての医学生は卒業時に、患者及び医療者における良質で安全な医療について理解し、配慮することができる能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (医療安全) 医療安全の重要性を理解し、患者中心の良質な医療提供に配慮することができる。
2. (ヒューマンエラー) ヒューマンエラーの生じるプロセスを理解し、予防することができる。
3. (有害事象の予防) 医療行為に伴う有害事象と予防策を理解し実践できる。
4. (有害事象への対策) 有害事象を発見し対策を理解し実践できる。
5. (医療安全の組織) 医療安全における組織的な取り組みを理解できる。

VII. 国際性

能力の種類：「態度」＋「知識」

すべての医学生は卒業時に、海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動できる能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (国際的視野) 多様な異文化を理解し、国際的視野に立って、医学、医療の問題について考えることができる。
2. (英語) 英語を用いて他国の人とコミュニケーションがとれる。
3. (国際社会の健康問題) 国際社会の健康問題を国際社会の一員として理解できる。

VIII. 地域医療への貢献(社会における医療の実践)

能力の種類:「態度」+「知識」

すべての医学生は卒業時に、地域医療の実情や問題点を理解し、かつ、地域医療へ貢献しようとする高い動機付けを有していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (地域特有の医療) 中山間地・離島を含む地域特有の医療を理解することができる。
2. (プライマリ・ケア) プライマリ・ケアの重要性を理解し、自らの動機付けを高めることができる。
3. (地域医療の問題点) 地域医療が抱える諸問題(医師不足、アクセス、高齢化を含む)を理解し、その解決のために何をすべきかについて考察することができる。
4. (地域医療を担う使命感) 地域医療を担う使命感と意欲を自ら向上させ、地域医療へ貢献しようとする動機付けを高めることができる。

IX. 科学的探求心

能力の種類:「技能」+「態度」+「知識」

すべての医学生は卒業時に、自ら積極的に解決科学的思考やリサーチマインドを持って真理を探究し続けることができる能力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. (未知の課題への取り組み) 未知・未解決の課題を見出し、その解決に積極的に取り組むことができる。

X. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

能力の種類:「態度」

すべての医学生は卒業時に、常に自らを内省し成長する能力、さらには他者の学修を支援する教育力を修得していることが求められる。

<コンピテンシー>

1. （教育法の習得）教育理論を理解し、自律して能動的に学修することができる。
2. （自己研鑽）自己を内省し、他の医療従事者と共に研鑽しながら生涯にわたって向上・成長することが（知識・技能・態度について）できる。
3. （教育の実践）医学生を含む医療系学生、医療従事者、患者や地域住民に対して教育を実践することができる。